

これに対して要介護1の806名中「どんな物も可(はし使用、魚)」659名(81.8%)、「日常では一人で」は127名(15.8%)、「一部分手伝い」は13名(1.6%)、「全て手伝い」は1名(0.1%)、「非経口」0名(0.0%)であった。

また、要介護2の404名中では、「どんな物も可(はし使用、魚)」275名(68.1%)、「日常では一人で」は97名(24.0%)、「一部分手伝い」は20名(5.0%)、「全て手伝い」は3名(0.7%)、「非経口」1名(0.2%)であった。

食事の自立者、すなわち、「どんな物も可(はし使用、魚)」(「普遍的自立」に準ずる)と「日常では一人で」(「環境限定型自立」)に準ずる)の合計(「自立計」)を要介護度別にみると、要支援424名(98.4%)、要介護1786名(97.5%)、要介護2372名(92.1%)でほとんど差はなかった。

ただ「どんな物も可(はし使用、魚)」(「普遍的自立」に準ずる)のみをみると、要支援

88.4%、要介護181.8%、要支援268.1%と要介護2で低下がみられた。

3) 入浴(a5101)

入浴の状況を表7に示す。

「どこでも(大浴場を含め)」は要支援431名中148名(34.3%)、「自宅浴槽での自立」は243名(56.4%)、「自宅で一部介助」は25名(5.8%)、「その他」は9名(2.1%)であった。これに対して要介護1の806名中「どこでも(大浴場)」130名(16.1%)、「自宅浴槽自立」は409名(50.7%)、「自宅一部介助」は165名(20.5%)、「その他」は81名(10.0%)であった。

また、要介護2の404名中では、「どこでも(大浴場)」31名(7.7%)、「自宅浴槽自立」は109名(27.0%)、「自宅一部介助」は153名(37.9%)、「その他」は93名(23.0%)であった。

表6 食事の自立度—要介護度・男女別—

	要支援			要介護1			要介護2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
どんな物も可(はし使用、魚)	70名 83.3%	311名 89.6%	381名 88.4%	159名 82.8%	500名 81.4%	659名 81.8%	79名 69.9%	196名 67.4%	275名 68.1%	1315名 80.1%
日常では一人で	12 14.3%	31 8.9%	43 10.0%	27 14.1%	100 16.3%	127 15.8%	23 20.4%	74 25.4%	97 24.0%	267 16.3%
一部分手伝い	1 1.2%	3 0.9%	4 1.0%	4 2.1%	9 1.5%	13 1.6%	5 4.4%	15 5.2%	20 5.0%	37 2.3%
全て手伝い	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.2%	1 0.1%	1 0.9%	2 0.7%	3 0.7%	4 0.2%
非経口	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.9%	0 0.0%	1 0.2%	1 0.1%
返答なし	1 1.2%	2 0.6%	3 0.7%	2 1.0%	4 0.7%	6 0.7%	4 3.5%	4 1.4%	8 2.0%	17 1.0%
計	84 100%	347 100%	431 100%	192 100%	614 100%	806 100%	113 100%	291 100%	404 100%	1641 100%

入浴の自立者、すなわち、「どこでも（大浴場）」（「普遍的自立」）と「自宅浴槽自立」（「環境限定型自立」）の合計（「自立計」）を要介護度別にみると、要支援 391 名（90.7%）、要介護 1 539 名（66.9%）、要介護 2 140 名（34.7%）と、要介護度との間に著明な関連がみられた。

「どこでも（大浴場を含め）」（「普遍的自立」）のみについては、同じく 34.3%、16.1%、7.7%であり、関連は同様に著明であった。

4) みだしなみ（洗面・歯みがき）（洗面：a 5100、歯みがき：a 5201）

みだしなみの状況を表 8 に示す。

「外出先でも自立」は要支援 431 名中 267 名（61.9%）、「自宅内自立（立位）」は 139 名（32.3%）、「自宅自立（椅子・車いす座位）」は 16 名（3.7%）、「一部介護」は 3 名（0.7%）、「その他」は 1 名（0.2%）であった。

これに対して要介護 1 の 806 名中「外出先でも自立」347 名（43.1%）、「自宅内自立（立位）」は 331 名（41.1%）、「自宅自立（椅子・車いす座位）」は 79 名（9.8%）、「一部介護」は 23 名（2.9%）、「その他」は 12 名（1.5%）であった。

また、要介護 2 の 404 名中では、「外出先でも自立」86 名（21.3%）、「自宅内自立（立位）」は 169 名（41.8%）、「自宅自立（椅子・車いす座位）」は 71 名（17.6%）、「一部介護」は 51 名（12.6%）、「その他」は 8 名（2.0%）であった。

みだしなみ（洗面・歯みがき）の自立者、すなわち、「外出先でも自立」（「普遍的自立」）と「自宅内自立（立位）」（「環境限定型自立」）の合計（「自立計」）を要介護度別にみると、要支援 406 名（94.2%）、要介護 1 678 名（84.1%）、要介護 2 255 名（63.1%）と、要介護度との間に著明な関連がみられた。

表 7 入浴の自立度－要介護度・男女別－

	要支援			要介護 1			要介護 2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
どこでも （大浴場）	32 名 38.1%	116 名 33.4%	148 名 34.3%	30 名 15.6%	100 名 16.3%	130 名 16.1%	10 名 8.8%	21 名 7.2%	31 名 7.7%	309 名 18.8%
自宅浴槽自立	41 48.8%	202 58.2%	243 56.4%	99 51.6%	310 50.5%	409 50.7%	37 32.7%	72 24.7%	109 27.0%	761 46.4%
自宅一部介助	8 9.5%	17 4.9%	25 5.8%	36 18.8%	129 21.0%	165 20.5%	47 41.6%	106 36.4%	153 37.9%	343 20.9%
その他	2 2.4%	7 2.0%	9 2.1%	21 10.9%	60 9.8%	81 10.0%	16 14.2%	77 26.5%	93 23.0%	183 11.2%
複数回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.5%	3 0.5%	4 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 0.2%
返答なし	1 1.2%	5 1.4%	6 1.4%	5 2.6%	12 2.0%	17 2.1%	3 2.7%	15 5.2%	18 4.5%	41 2.5%
計	84 100%	347 100%	431 100%	192 100%	614 100%	806 100%	113 100%	291 100%	404 100%	1641 100%

ただし要支援と要介護1との間の差は「外出先でも自立」のみについてみた場合（同じく61.9%、43.1%、21.3%）により著明であった。

5) 更衣 (a540)

更衣の状況を表9に示す。

「どんなものも(コート・外出着も)」は要支援431名中315名(73.1%)、「日常着は自立」は102名(23.7%)、「一部介護」は7名(1.6%)、「全介護」は0名(0.0%)であった。

これに対して要介護1の806名中「どんなものも(コート・外出着も)」446名(55.3%)、「日常着は自立」は276名(34.2%)、「一部介護」は72名(8.9%)、「全介護」は3名(0.4%)であった。

また、要介護2の404名中では、「どんなものも(コート・外出着も)」102名(25.2%)、

「日常着は自立」は151名(37.4%)、「一部介護」は123名(30.4%)、「全介護」は18名(4.5%)であった。

更衣の自立者、すなわち「どんなものも(コート・外出着も)」(「普遍的自立」に準ずる)と「日常着は自立」(「環境限定型自立」に準ずる)の合計(「自立計」)を要介護度別にみると、要支援417名(96.8%)、要介護1722名(89.6%)、要介護2253名(62.6%)と、要介護度との関連がみられた。

ただ「どんなものも(コート・外出着も)」だけをみた時の差(同じく73.1%、55.3%、25.2%)の方がより著明であった。

6) 立って靴下をはく (a5402、a4154)

更衣の一部をなすが、やや特殊な面を持ち、困難性が高いと考えられるため、「立って靴下をはくこと」を別個に調査した。

表8 みだしなみ(洗面・歯みがき)の自立度—要介護度・男女別—

	要支援			要介護1			要介護2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
外出先でも自立	55名 65.5%	212名 61.1%	267名 61.9%	71名 37.0%	276名 45.0%	347名 43.1%	23名 20.4%	63名 21.6%	86名 21.3%	700名 42.7%
自宅内自立(立位)	26 31.0%	113 32.6%	139 32.3%	95 49.5%	236 38.4%	331 41.1%	47 41.6%	122 41.9%	169 41.8%	639 38.9%
自宅自立(椅子・車いす座立)	3 3.6%	13 3.7%	16 3.7%	12 6.3%	67 10.9%	79 9.8%	22 19.5%	49 16.8%	71 17.6%	166 10.1%
一部介護	0 0.0%	3 0.9%	3 0.7%	8 4.2%	15 2.4%	23 2.9%	12 10.6%	39 13.4%	51 12.6%	77 4.7%
その他	0 0.0%	1 0.3%	1 0.2%	3 1.6%	9 1.5%	12 1.5%	2 1.8%	6 2.1%	8 2.0%	21 1.3%
複数回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
返答なし	0 0.0%	5 1.4%	5 1.2%	3 1.6%	11 1.8%	14 1.7%	7 6.2%	12 4.1%	19 4.7%	38 2.3%
計	84 100%	347 100%	431 100%	192 100%	614 100%	806 100%	113 100%	291 100%	404 100%	1641 100%

立って靴下をはく状況を表 10 に示す。

「もたれずにしている」は要支援 431 名中 16 名 (3.7%)、「もたれてしている」は 40 名 (9.3%)、「座ってしている」は 369 名 (85.6%)、「はかせてもらっている」は 2 名 (0.5%) であった。

これに対して要介護 1 の 806 名中「もたれずにしている」23 名 (2.9%)、「もたれてしている」は 56 名 (6.9%)、「座ってしている」は 688 名 (85.4%)、「はかせてもらっている」は 30 名 (3.7%) であった。

また、要介護 2 の 404 名中では、「もたれずにしている」5 名 (1.2%)、「もたれてしている」は 21 名 (5.2%)、「座ってしている」は 318 名 (78.7%)、「はかせてもらっている」は 54 名 (13.4%) であった。

立って靴下をはくの自立者、すなわち、「もたれずにしている」(「普遍的自立」に準ずる)と「もたれてしている」(「環境限定型自立」に準ずる)の合計(「自立計」)を要介護度別

にみると、要支援 56 名 (13.0%)、要介護 1 79 名 (9.8%)、要介護 2 26 名 (6.4%) であった。

このように「自立」者は非常に少なく、79～86%が「座ってしている」であった。また「はかせてもらっている」は、要介護 2 では 13.4%と決して少なくなく、特に男性では 19.5%と女性の 2 倍近くにみられた

表 9 の「更衣」とも比較すると、「自立」計において要支援では「更衣」96.8%対「靴下」13.0%、要介護 1 では同 89.5%対 9.8%、要介護 2 では同 62.6%対 6.4%と大きな差があり、「更衣」全体に比べ「立って靴下をはく」ことがはるかに困難であることがみてとれた。

3. 意思疎通 (コミュニケーション: a 3)

同じ「活動」であるが、これまでの歩行・移動および日常生活行為とは性格を異にする意思疎通 (コミュニケーション) について調査した。

表 9 更衣の自立度—要介護度・男女別—

	要支援			要介護 1			要介護 2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
どんなものも (コート・外出 着も)	57 名 67.9%	258 名 74.4%	315 名 73.1%	93 名 48.4%	353 名 57.5%	446 名 55.3%	24 名 21.2%	78 名 26.8%	102 名 25.2%	863 名 52.6%
日常着は自立	22 26.2%	80 23.1%	102 23.7%	71 37.0%	205 33.4%	276 34.2%	36 31.9%	115 39.5%	151 37.4%	529 32.2%
一部介護	3 3.6%	4 1.2%	7 1.6%	24 12.5%	48 7.8%	72 8.9%	41 36.3%	82 28.2%	123 30.4%	202 12.3%
全介護	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.5%	2 0.3%	3 0.4%	7 6.2%	11 3.8%	18 4.5%	21 1.3%
返答なし	2 2.4%	5 1.4%	7 1.6%	3 1.6%	6 1.0%	9 1.1%	5 4.4%	5 1.7%	10 2.5%	26 1.6%
計	84 100%	347 100%	431 100%	192 100%	614 100%	806 100%	113 100%	291 100%	404 100%	1641 100%

意思疎通（コミュニケーション）状況を表11に示す。

「問題ない」は要支援 431 名中 357 名（82.8%）、「一応意思疎通している」は 56 名（13.0%）、「かなり難しい」は 10 名（2.3%）であった。

これに対して要介護1の 806 名中「問題ない」586 名（72.7%）、「一応意思疎通している」は 174 名（21.6%）、「かなり難しい」は 23 名（2.9%）であった。

また、要介護2の 404 名中では、「問題ない」201 名（49.8%）、「一応意思疎通している」は 145 名（35.9%）、「かなり難しい」は 41 名（10.1%）であった。

意思疎通（コミュニケーション）の自立者、すなわち、「問題ない」と「一応意思疎通している」の合計を要介護度別にみると、要支援 413 名（95.8%）、要介護1 760 名（94.3%）、要介護2 346 名（85.6%）であり、要介護度による著しい差はなかった。

表10 立って靴下をはくことの自立度—要介護度・男女別—

	要支援			要介護1			要介護2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
もたれずにしている	2名 2.4%	14名 4.0%	16名 3.7%	6名 3.1%	17名 2.8%	23名 2.9%	2名 1.8%	3名 1.0%	5名 1.2%	44名 2.7%
もたれてしている	12 14.3%	28 8.1%	40 9.3%	12 6.3%	44 7.2%	56 6.9%	4 3.5%	17 5.8%	21 5.2%	117 7.1%
座っている	70 83.3%	299 86.2%	369 85.6%	162 84.4%	526 85.7%	688 85.4%	84 74.3%	234 80.4%	318 78.7%	1375 83.8%
はかせてもらっている	0 0.0%	2 0.6%	2 0.5%	10 5.2%	20 3.3%	30 3.7%	22 19.5%	32 11.0%	54 13.4%	86 5.2%
返答なし	0 0.0%	4 1.2%	4 0.9%	2 1.0%	7 1.1%	9 1.1%	1 0.9%	5 1.7%	6 1.5%	19 1.2%
計	84 100%	347 100%	431 100%	192 100%	614 100%	806 100%	113 100%	291 100%	404 100%	1641 100%

表11 意思疎通（コミュニケーション）の自立度—要介護度・男女別—

	要支援			要介護1			要介護2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
問題ない	67名 79.8%	290名 83.6%	357名 82.8%	134名 69.8%	452名 73.6%	586名 72.7%	60名 53.1%	141名 48.5%	201名 49.8%	1144名 69.7%
一応意思疎通している	14 16.7%	42 12.1%	56 13.0%	47 24.5%	127 20.7%	174 21.6%	41 36.3%	104 35.7%	145 35.9%	375 22.9%
かなり難しい	2 2.4%	8 2.3%	10 2.3%	8 4.2%	15 2.4%	23 2.9%	5 4.4%	36 12.4%	41 10.1%	74 4.5%
返答なし	1 1.2%	7 2.0%	8 1.9%	3 1.6%	20 3.3%	23 2.9%	7 6.2%	10 3.4%	17 4.2%	48 2.9%
計	84 100%	347 100%	431 100%	192 100%	614 100%	806 100%	113 100%	291 100%	404 100%	1641 100%

Ⅱ. 「活動」の状況(2): 生活の活発さー「活動」の「量」

1. 一日の体の活動量

一日の体の活動量の状況を表12に示す。

「外にはあまり出ないが、家の中ではよく動いている」は要支援431名中81名(18.8%)、「外をよく歩き、家の中でもよく動いている」は139名(32.3%)、「座って、興味のあることをして過ごすことが多い」は144名(33.4%)、「日中も横になっていることが多い」は57名(13.2%)、「ほとんど横になっている」は4名(0.9%)であった。

これに対して要介護1の806名中「外をよく歩き、家の中でもよく動いている」66名(8.2%)、「外にはあまり出ないが、家の中ではよく動いている」は166名(20.6%)、「座って、興味のあることをして過ごすことが多い」は374名(46.4%)、「日中も横になっていることが多い」は168名(20.8%)、「ほとんど横になっ

ている」は24名(3.0%)であった。

また、要介護2の404名中では、「外をよく歩き、家の中でもよく動いている」23名(5.7%)、「外にはあまり出ないが、家の中ではよく動いている」は59名(14.6%)、「座って、興味のあることをして過ごすことが多い」は169名(41.8%)、「日中も横になっていることが多い」は116名(28.7%)、「ほとんど横になっている」は26名(6.4%)であった。

一日の体の活動量の上記の1、2位、すなわち、「外をよく歩き、家の中でもよく動いている」と「外にはあまり出ないが、家の中ではよく動いている」の合計を要介護度別にみると、要支援220名(51.0%)、要介護1232名(28.8%)、要介護282名(20.3%)と、要支援と要介護1との間に大きな差があった。

表12 一日の体の活動量ー要介護度・男女別ー

	要支援			要介護1			要介護2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
外をよく歩き、家の中でもよく動いている	29名 34.5%	52名 15.0%	81名 18.8%	24名 12.5%	42名 6.8%	66名 8.2%	2名 1.8%	21名 7.2%	23名 5.7%	170名 10.4%
外にはあまり出ないが、家の中ではよく動いている	17 20.2%	122 35.2%	139 32.3%	33 17.2%	133 21.7%	166 20.6%	11 9.7%	48 16.5%	59 14.6%	364 22.2%
座って、興味のあることをして過ごすことが多い	24 28.6%	120 34.6%	144 33.4%	77 40.1%	297 48.4%	374 46.4%	55 48.7%	114 39.2%	169 41.8%	687 41.9%
日中も横になっていることが多い	11 13.1%	46 13.3%	57 13.2%	48 25.0%	120 19.5%	168 20.8%	35 31.0%	81 27.8%	116 28.7%	341 20.8%
ほとんど横になっている	1 1.2%	3 0.9%	4 0.9%	8 4.2%	16 2.6%	24 3.0%	8 7.1%	18 6.2%	26 6.4%	54 3.3%
返答なし	2 2.4%	4 1.2%	6 1.4%	2 1.0%	6 1.0%	8 1.0%	2 1.8%	9 3.1%	11 2.7%	25 1.5%
計	84 100%	347 100%	431 100%	192 100%	614 100%	806 100%	113 100%	291 100%	404 100%	1641 100%

2. 一日の時間の過ごし方

一日の時間の過ごし方の状況を表 13 に示す。

「仕事・趣味などで外に出ていることが多い」は要支援 431 名中 42 名 (9.7%)、「家において家事や興味のあることをしている」は 207 名 (48.0%)、「ほとんどテレビをみている」は 141 名 (32.7%)、「ほとんど何もしていない」は 30 名 (7.0%)、「ほとんど横になっている」は 7 名 (1.6%) であった。

これに対して要介護 1 の 806 名中「仕事・趣味などで外に出ていることが多い」29 名 (3.6%)、「家において家事や興味のあることをしている」は 286 名 (35.5%)、「ほとんどテレビをみている」は 320 名 (39.7%)、「ほとんど何もしていない」は 106 名 (13.2%)、「ほとん

ど横になっている」は 53 名 (6.6%) であった。

また、要介護 2 の 404 名中では、「仕事・趣味などで外に出ていることが多い」10 名 (2.5%)、「家において家事や興味のあることをしている」は 86 名 (21.3%)、「ほとんどテレビをみている」は 160 名 (39.6%)、「ほとんど何もしていない」は 87 名 (21.5%)、「ほとんど横になっている」は 50 名 (12.4%) であった。

一日の時間の過ごし方の上位 1、2 位、すなわち、「仕事・趣味などで外に出ていることが多い」と「家において家事や興味のあることをしている」の合計を要介護度別にみると、要支援 249 名 (57.8%)、要介護 1 315 名 (39.1%)、要介護 2 96 名 (23.8%) と、要介護度との間に関連性があった。

表 13 一日の時間の過ごし方—要介護度・男女別—

	要支援			要介護 1			要介護 2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
仕事・趣味などで外に出ていることが多い	15名 17.9%	27名 7.8%	42名 9.7%	15名 7.8%	14名 2.3%	29名 3.6%	2名 1.8%	8名 2.7%	10名 2.5%	81名 4.9%
家において家事や興味のあることをしている	40 47.6%	167 48.1%	207 48.0%	43 22.4%	243 39.6%	286 35.5%	23 20.4%	63 21.6%	86 21.3%	579 35.3%
ほとんどテレビをみている	24 28.6%	117 33.7%	141 32.7%	90 46.9%	230 37.5%	320 39.7%	52 46.0%	108 37.1%	160 39.6%	621 37.8%
ほとんど何もしていない	2 2.4%	28 8.1%	30 7.0%	25 13.0%	81 13.2%	106 13.2%	21 18.6%	66 22.7%	87 21.5%	223 13.6%
ほとんど横になっている	3 3.6%	4 1.2%	7 1.6%	15 7.8%	38 6.2%	53 6.6%	12 10.6%	38 13.1%	50 12.4%	110 6.7%
複数回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
返答なし	0 0.0%	4 1.2%	4 0.9%	4 2.1%	8 1.3%	12 1.5%	3 2.7%	8 2.7%	11 2.7%	27 1.6%
計	84 100%	347 100%	431 100%	192 100%	614 100%	806 100%	113 100%	291 100%	404 100%	1641 100%

3. 外出回数・目的・手段

1) 外出回数

外出する回数（通所以外）の現在の状況について表 14 に示す。

総計で「週 4 回以上」は 1641 名中 361 名 (22.0%)、「週 2～3 回」は 446 名 (27.2%)、「週 1 回」は 298 名 (18.2%)、「ほとんどない」は 518 名 (31.6%) であった。

「週 4 回以上」と「週 2～3 回」を加えた上位 2 ランクの比率は要支援－要介護 1－要介護 2 で 66.4%－45.4%－38.4%であり、「週 4 回以上」のみの比率は同じく 32.7%－20.0%－14.6%と、いずれも要介護度との関連が明らかであった。逆に「ほとんどない」は 14.8%－34.2%－44.1%と要介護度が進むほど著明に多くなった。

表 14 外出回数

	要支援			要介護 1			要介護 2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
週4回以上	41名 48.8%	100名 28.8%	141名 32.7%	56名 29.2%	105名 17.1%	161名 20.0%	15名 13.3%	44名 15.1%	59名 14.6%	361名 22.0%
週2～3回	23 27.4%	122 35.2%	145 33.6%	46 24.0%	159 25.9%	205 25.4%	28 24.8%	68 23.4%	96 23.8%	446 27.2%
週1回	10 11.9%	69 19.9%	79 18.3%	34 17.7%	121 19.7%	155 19.2%	20 17.7%	44 15.1%	64 15.8%	298 18.2%
ほとんどない	10 11.9%	54 15.6%	64 14.8%	56 29.2%	220 35.8%	276 34.2%	49 43.4%	129 44.3%	178 44.1%	518 31.6%
返答なし	0 0.0%	2 0.6%	2 0.5%	0 0.0%	9 1.5%	9 1.1%	1 0.9%	6 2.1%	7 1.7%	18 1.1%
計	84 100%	347 100%	431 100%	192 100%	614 100%	806 100%	113 100%	291 100%	404 100%	1641 100%

表 15 外出回数が減った理由（回答者別）

	要支援			要介護1			要介護2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
病気をきっかけに	6名 7.1%	14名 4.0%	20名 4.6%	17名 8.9%	31名 5.0%	48名 6.0%	7名 6.2%	23名 7.9%	30名 7.4%	98名 6.0%
疲れやすくなった	1 1.2%	9 2.6%	10 2.3%	4 2.1%	24 3.9%	28 3.5%	2 1.8%	3 1.0%	5 1.2%	43 2.6%
外出の目的がなくな った	2 2.4%	2 0.6%	4 0.9%	2 1.0%	12 2.0%	14 1.7%	1 0.9%	1 0.3%	2 0.5%	20 1.2%
つまづき易い	0 0.0%	4 1.2%	4 0.9%	4 2.1%	3 0.5%	7 0.9%	0 0.0%	4 1.4%	4 1.0%	15 0.9%
一緒に外出する人が いなくなった	0 0.0%	1 0.3%	1 0.2%	1 0.5%	3 0.5%	4 0.5%	1 0.9%	1 0.3%	2 0.5%	7 0.4%
歩くスピードが遅い	0 0.0%	2 0.6%	2 0.5%	2 1.0%	3 0.5%	5 0.6%	1 0.9%	1 0.3%	2 0.5%	9 0.5%
目が見えにくくな った	1 1.2%	1 0.3%	2 0.5%	0 0.0%	4 0.7%	4 0.5%	1 0.9%	0 0.0%	1 0.2%	7 0.4%
歩きにくい場所がで てきた	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.5%	2 0.3%	3 0.4%	0 0.0%	2 0.7%	2 0.5%	5 0.3%
耳が聞こえにくく なった	0 0.0%	1 0.3%	1 0.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.8%	0 0.0%	2 0.5%	3 0.2%
その他	3 3.6%	23 6.6%	26 6.0%	13 6.8%	22 3.6%	35 4.3%	7 6.2%	11 3.8%	18 4.5%	79 4.8%
複数回答	12 14.3%	54 15.6%	66 15.3%	25 13.0%	118 19.2%	143 17.7%	23 20.4%	58 19.9%	81 20.0%	290 17.7%
返答なし	59 70.2%	236 68.0%	295 68.4%	123 64.1%	392 63.8%	515 63.9%	68 60.2%	187 64.3%	255 63.1%	1065 64.9%
計	84 100%	347 100%	431 100%	192 100%	614 100%	806 100%	113 100%	291 100%	404 100%	1641 100%

2) 外出回数減少理由

外出回数が6ヶ月前に比較して、1)の外出回数についての4段階で1段階以上低下した場合、減った場合の理由を表15、16に示す。

表15にみるように複数回答者が多いので、項目別に集計し、返答なしを除いた、表16(合計は100%以上もありうる)を中心に述べる。

総計の1641名中で最も多いのは「病気をきっかけに」の218名(13.3%)、次が「疲れやすくなった」の208名(12.7%)、「つまづき易い」の184名(11.2%)で、他は10%以下であった。「病気をきっかけに」「疲れやすくなった」「つまづき易い」については要介護度が進むほど多くなる傾向がみられた。

表16 外出回数が減った理由(項目別)

	要支援			要介護1			要介護2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
病気をきっかけに	8名 9.5%	36名 10.4%	44名 10.2%	32名 16.7%	76名 12.4%	108名 13.4%	20名 17.7%	46名 15.8%	66名 16.3%	218名 13.3%
疲れやすくなった	7 8.3%	42 12.1%	49 11.4%	18 9.4%	95 15.5%	113 14.0%	13 11.5%	33 11.3%	46 11.4%	208 12.7%
つまづき易い	7 8.3%	30 8.6%	37 8.6%	17 8.9%	72 11.7%	89 11.0%	15 13.3%	43 14.8%	58 14.4%	184 11.2%
歩くスピードが遅い	5 6.0%	27 7.8%	32 7.4%	16 8.3%	59 9.6%	75 9.3%	11 9.7%	27 9.3%	38 9.4%	145 8.8%
目が見えにくくなった	3 3.6%	12 3.5%	15 3.5%	3 1.6%	36 5.9%	39 4.8%	3 2.7%	11 3.8%	14 3.5%	68 4.1%
耳が聞こえにくくなった	7 8.3%	11 3.2%	18 4.2%	2 1.0%	28 4.6%	30 3.7%	4 3.5%	11 3.8%	15 3.7%	63 3.8%
外出の目的がなくなった	5 6.0%	8 2.3%	13 3.0%	3 1.6%	28 4.6%	31 3.1%	2 1.8%	5 1.7%	7 1.7%	51 3.1%
歩きにくい場所がでてきた	3 3.6%	9 2.6%	12 2.8%	1 0.5%	20 3.3%	21 2.6%	3 2.7%	10 3.4%	13 3.2%	46 2.8%
一緒に外出する人がいなくなった	2 2.4%	9 2.6%	11 2.6%	1 0.5%	17 2.8%	18 2.2%	3 2.7%	4 1.4%	7 1.7%	36 2.2%
その他	5 6.0%	30 8.6%	35 8.1%	16 8.3%	46 7.5%	62 7.7%	13 11.5%	21 7.2%	34 8.4%	131 8.0%
計	52 61.9%	214 61.7%	266 61.7%	109 56.8%	477 77.7%	586 72.7%	87 77.0%	211 72.5%	298 73.8%	1150 70.1%

3) 外出目的

外出する目的の現在の状況について表 17、18 に示す。

表 17 にみるように複数回答者が多いので、項目別に集計した表 18 (合計は 100%以上) を中心に述べる。

総計の 1641 名でみて、最も多いのは「通院」

で 1126 名 (68.6%)、次いで「買い物」が 553 名 (33.7%)、「散歩」が 517 名 (31.5%)、「通所」が 408 名 (24.9%) で、それ以外は全て 10%未満であった。買い物や散歩は要介護度が進むほど少なくなる傾向があり、通所は逆に多少増える傾向があった。

表 17 外出目的：現在 (回答者別)

	要支援			要介護 1			要介護 2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
通院	10名 11.9%	48名 13.8%	58名 13.5%	44名 22.9%	116名 18.9%	160名 19.9%	33名 29.2%	71名 24.4%	104名 25.7%	322名 19.6%
通所	0 0.0%	6 1.7%	6 1.4%	6 3.1%	30 4.9%	36 4.5%	8 7.1%	28 9.6%	36 8.9%	78 4.8%
散歩	6 7.1%	2 0.6%	8 1.9%	9 4.7%	22 3.6%	31 3.8%	5 4.4%	4 1.4%	9 2.2%	48 2.9%
買い物	1 1.2%	9 2.6%	10 2.3%	5 2.6%	11 1.8%	16 2.0%	4 3.5%	6 2.1%	10 2.5%	36 2.2%
友人宅	0 0.0%	2 0.6%	2 0.5%	0 0.0%	4 0.7%	4 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 0.4%
畑作業	1 1.2%	1 0.3%	2 0.5%	0 0.0%	2 0.3%	2 0.2%	1 0.9%	2 0.7%	3 0.7%	7 0.4%
趣味・スポーツ	0 0.0%	1 0.3%	1 0.2%	1 0.5%	0 0.0%	1 0.1%	0 0.0%	1 0.3%	1 0.2%	3 0.2%
親類宅	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.3%	1 0.2%	1 0.1%
老人クラブ	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
地域種別内会	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
仕事	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	1 1.2%	3 0.9%	4 0.9%	2 1.0%	3 0.5%	5 0.6%	1 0.9%	6 2.1%	7 1.7%	16 1.0%
複数回答	61 72.6%	257 74.1%	318 73.8%	100 52.1%	347 56.5%	447 55.5%	52 46.0%	136 46.7%	188 46.5%	953 58.1%
返答なし	4 4.8%	18 5.2%	22 5.1%	25 13.0%	79 12.9%	104 12.9%	9 8.0%	36 12.4%	45 11.1%	171 10.4%
計	84 100%	347 100%	431 100%	192 100%	614 100%	806 100%	113 100%	291 100%	404 100%	1641 100%

表 18 外出目的：現在（項目別）

	要支援			要介護 1			要介護 2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
通院	60名 71.4%	267名 76.9%	327名 75.9%	125名 65.1%	416名 67.8%	541名 67.1%	78名 69.0%	180名 61.9%	258名 63.9%	1126名 68.6%
買い物	40 47.6%	204 58.8%	244 56.6%	47 24.5%	194 31.6%	241 29.9%	19 16.8%	49 16.8%	68 16.8%	553 33.7%
散歩	42 50.0%	124 35.7%	166 38.5%	68 35.4%	176 28.7%	244 30.3%	31 27.4%	76 26.1%	107 26.5%	517 31.5%
通所	10 11.9%	71 20.5%	81 18.8%	42 21.9%	158 25.7%	200 24.8%	32 28.3%	95 32.6%	127 31.4%	408 24.9%
友人宅	7 8.3%	53 15.3%	60 13.9%	5 2.6%	60 9.8%	65 8.1%	0 0.0%	8 2.7%	8 2.0%	133 8.1%
趣味・スポーツ	13 15.5%	50 14.4%	63 14.6%	12 6.3%	25 4.1%	37 4.6%	3 2.7%	8 2.7%	11 2.7%	111 6.8%
親類宅	7 8.3%	32 9.2%	39 9.0%	7 3.6%	34 5.5%	41 5.1%	3 2.7%	11 3.8%	14 3.5%	94 5.7%
老人クラブ	5 6.0%	29 8.4%	34 7.9%	9 4.7%	30 4.9%	39 4.8%	4 3.5%	5 1.7%	9 2.2%	82 5.0%
畑作業	4 4.8%	16 4.6%	20 4.6%	7 3.6%	17 2.8%	24 3.0%	4 3.5%	10 3.4%	14 3.5%	58 3.5%
地域活動内会	3 3.6%	10 2.9%	13 3.0%	4 2.1%	11 1.8%	15 1.9%	0 0.0%	2 0.7%	2 0.5%	30 1.8%
仕事	4 4.8%	3 0.9%	7 1.6%	0 0.0%	4 0.7%	4 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	11 0.7%
その他	7 8.3%	33 9.5%	40 9.3%	14 7.3%	31 5.0%	45 0.6%	9 8.0%	18 6.2%	27 6.7%	112 6.8%
計	202 240.5%	892 257.1%	1094 253.8%	340 177.1%	1156 188.3%	1496 185.6%	183 161.9%	462 158.8%	645 159.7%	3235 197.1%

4) 外出手段

外出手段の現在の状況について表 19、20 に示す。

表 19 にみるように複数回答者が多いので、項目別に集計して、返答なしを除いた、表 20 (合計は 100%以上) を中心に述べる。

総計の 1641 名中の比率でみて、最も多いの

は「家族の車」844 名 (51.4%) で、「全て歩いて」466 名 (28.4%)、「タクシー」は 427 名 (26.0%) がそれに次ぐ。他は全て 10%以下である。要介護度が高くなるほど「全て歩いて」は著しく減少し、「タクシー」も減り、「家族の車」が増える傾向がみられる。

表 19 外出手段 (回答者別)

	要支援			要介護 1			要介護 2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
外出していない	3名 3.6%	14名 4.0%	17名 3.9%	13名 6.8%	53名 8.6%	66名 8.2%	11名 9.7%	29名 10.0%	40名 9.9%	123名 7.5%
家族の車	7 8.3%	49 14.1%	56 13.0%	38 19.8%	156 25.4%	194 24.1%	27 23.9%	123 42.3%	150 37.1%	400 24.4%
全て歩いて	9 10.7%	44 12.7%	53 12.3%	21 10.9%	41 6.7%	62 7.7%	5 4.4%	10 3.4%	15 3.7%	130 7.9%
タクシー	2 2.4%	29 8.4%	31 7.2%	14 7.3%	61 9.9%	75 9.3%	8 7.1%	13 4.5%	21 5.2%	127 7.7%
車す (常口)	1 1.2%	2 0.6%	3 0.7%	5 2.6%	6 1.0%	11 1.4%	6 5.3%	10 3.4%	16 4.0%	30 1.8%
車を運転	12 14.3%	5 1.4%	17 3.9%	6 3.1%	2 0.3%	8 1.0%	2 1.8%	0 0.0%	2 0.5%	27 1.6%
自転車・バイク	3 3.6%	3 0.9%	6 1.4%	10 5.2%	2 0.3%	12 1.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	18 1.1%
電動三輪車	3 3.6%	2 0.6%	5 1.2%	5 2.6%	7 1.1%	12 1.5%	1 0.9%	0 0.0%	1 0.2%	18 1.1%
車す (時々)	0 0.0%	1 0.3%	1 0.2%	3 1.6%	5 0.8%	8 1.0%	0 0.0%	5 1.7%	5 1.2%	14 0.9%
バス・電車を利用	0 0.0%	7 2.0%	7 1.6%	1 0.5%	3 0.5%	4 0.5%	1 0.9%	1 0.3%	2 0.5%	13 0.8%
その他	1 1.2%	18 5.2%	19 4.4%	5 2.6%	23 3.7%	28 3.5%	2 1.8%	9 3.1%	11 2.7%	58 3.5%
複数回答	42 50.0%	172 49.6%	214 49.7%	70 36.5%	249 40.6%	319 39.6%	48 42.5%	87 29.9%	135 33.4%	668 40.7%
返答なし	1 1.2%	1 0.3%	2 0.5%	1 0.5%	6 1.0%	7 0.9%	2 1.8%	4 1.4%	6 1.5%	15 0.9%
計	84 100%	347 100%	431 100%	192 100%	614 100%	806 100%	113 100%	291 100%	404 100%	1641 100%

表 20 外出手段：現在（項目別）

	要支援			要介護1			要介護2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
外出していない	3名 3.6%	14名 4.0%	17名 3.9%	13名 6.8%	53名 8.6%	66名 8.2%	11名 9.7%	29名 10.0%	40名 9.9%	123名 7.5%
家族の車	28 33.3%	149 42.9%	177 41.1%	79 41.1%	337 54.9%	416 51.6%	56 49.6%	195 67.0%	251 62.1%	844 51.4%
全て歩いて	35 41.7%	144 41.5%	179 41.5%	53 27.6%	168 27.4%	221 27.4%	19 16.8%	47 16.2%	66 16.3%	466 28.4%
タクシー	18 21.4%	115 33.1%	133 30.9%	41 21.4%	176 28.7%	217 26.9%	38 33.6%	39 13.4%	77 19.1%	427 26.0%
バス・電車を利用	11 13.1%	68 19.6%	79 18.3%	15 7.8%	42 6.8%	57 7.1%	4 3.5%	9 3.1%	13 3.2%	149 9.1%
車いす(時々)	1 1.2%	4 1.2%	5 1.2%	13 6.8%	33 5.4%	46 5.7%	10 8.8%	21 7.2%	31 7.7%	82 5.0%
自転車・バイク	11 13.1%	20 5.8%	31 7.2%	23 12.0%	7 1.1%	30 3.7%	4 3.5%	5 1.7%	9 2.2%	70 4.3%
車いす(常に)	1 1.2%	3 0.9%	4 0.9%	11 5.7%	18 2.9%	29 3.6%	10 8.8%	19 6.5%	29 7.2%	62 3.8%
車を運転	17 20.2%	11 3.2%	28 6.5%	8 4.2%	5 0.8%	13 1.6%	4 3.5%	0 0.0%	4 1.0%	45 2.7%
電動二輪車	6 7.1%	5 1.4%	11 2.6%	10 5.2%	14 2.3%	24 3.0%	5 4.4%	2 0.7%	7 1.7%	42 2.6%
その他	5 6.0%	45 13.0%	50 11.6%	13 6.8%	59 9.6%	72 8.9%	10 8.8%	25 8.6%	35 8.7%	157 9.6%
計	136 161.9%	578 166.6%	714 165.7%	279 145.3%	912 148.5%	1191 147.8%	171 151.3%	391 134.4%	562 139.1%	2467 150.3%

II. 「参加」の状況

「参加」は「関与し役割を果たすこと」であり、社会参加には限らず、家庭内の役割、趣味・スポーツへの「参加」など多様なものを含むものである。以下代表的な参加項目とそれが変化した場合の理由について調べた。

1. 家庭内の役割（全体）

1) 家庭内役割の状況（p 630、p 640、p 650）

調査時点の家庭内の役割の状況を表 21 に示す。

「主婦（夫）の仕事をしている」は要支援 431 名中 113 名（26.2%）、「家事の一部を行っ

ている」は 144 名（33.4%）、「庭いじりをしている」は 18 名（4.2%）、「ほとんどしていない」は 60 名（13.9%）、「何もしていない」は 48 名（11.1%）、「その他」は 4 名（0.9%）であった。

これに対して要介護 1 の 806 名中「主婦（夫）の仕事をしている」78 名（9.7%）、「家事の一部を行っている」は 200 名（24.8%）、「庭いじりをしている」は 43 名（5.3%）、「ほとんどしていない」は 207 名（25.7%）、「何もしていない」は 225 名（27.9%）、「その他」は 10 名（1.2%）であった。

また、要介護2の404名中では、「主婦(夫)の仕事をしている」14名(3.5%)、「家事の一部を行っている」は49名(12.1%)、「庭いじりをしている」は12名(3.0%)、「ほとんどしていない」は103名(25.5%)、「何もしていない」は200名(49.5%)、「その他」は5名(1.2%)であった。

家庭内役割を一応果たしている者、すなわち、「主婦(夫)の仕事をしている」と「家事の一部を行っている」と「庭いじりをしている」の合計を要介護度別にみると、要支援275名(63.8%)、要介護1 321名(39.8%)、要介護2 75名(18.6%)であり、ここにおいても要介護度との関連性が著明であった。

各群とも男女差は「家事」という役割に関する社会文化的背景(社会意識という「環境

因子)から予測されるように著しく、女性の方が高かった。

2) 家庭内の役割が変化した場合の理由

調査時点において、以前果していた家庭内の役割が変化した場合の理由を表22に示す。

「返答なし」が各群で6~8割を占めるが、これはほぼ変化がなかった場合と考えることができる。「他の家族がしてくれる」は要支援431名中24名(5.6%)、「疲れやすい」は18名(4.2%)、「家事の動作が難しくなった」は38名(8.8%)、「その他」は19名(4.4%)であった。これを「返答なし」と「複数回答」を除いた99名中の比率でみると、それぞれ24.2%、18.2%、38.4%、19.2%となる。以下これで比較する。

表21 家庭内役割の状況—要介護度・男女別—

	要支援			要介護1			要介護2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
主婦(夫)の仕事をしている	11名 13.1%	102名 29.4%	113名 26.2%	11名 5.7%	67名 10.9%	78名 9.7%	3名 2.7%	11名 3.8%	14名 3.5%	205名 12.5%
家事の一部を行っている	21 25.0%	123 35.4%	144 33.4%	20 10.4%	180 29.3%	200 24.8%	6 5.3%	43 14.8%	49 12.1%	393 23.9%
庭いじりをしている	6 7.1%	12 3.5%	18 4.2%	14 7.3%	29 4.7%	43 5.3%	4 3.5%	8 2.7%	12 3.0%	73 4.4%
ほとんどしていない	16 19.0%	44 12.7%	60 13.9%	52 27.1%	155 25.2%	207 25.7%	29 25.7%	74 25.4%	103 25.5%	370 22.5%
何もしていない	17 20.2%	31 8.9%	48 11.1%	82 42.7%	143 23.3%	225 27.9%	64 56.6%	136 46.7%	200 49.5%	473 28.8%
その他	3 3.6%	1 0.3%	4 0.9%	5 2.6%	5 0.8%	10 1.2%	2 1.8%	3 1.0%	5 1.2%	19 1.2%
複数回答	5 6.0%	29 8.4%	34 7.9%	5 2.6%	24 3.9%	29 3.6%	1 0.9%	4 1.4%	5 1.2%	68 4.1%
返答なし	5 6.0%	5 1.4%	10 2.3%	3 1.6%	11 1.8%	14 1.7%	4 3.5%	12 4.1%	16 4.0%	40 2.4%
計	84 100%	347 100%	431 100%	192 100%	614 100%	806 100%	113 100%	291 100%	404 100%	1641 100%

要介護1の「返答なしと「複数回答」を除いた214名中「他の家族がしてくれる」69名(32.2%)、「疲れやすい」は19名(8.9%)、「家事の動作が難しくなった」は104名(48.6%)、「その他」は22名(10.3%)であった。

また、要介護2の同じく114名中では、「他の家族がしてくれる」40名(35.1%)、「疲れやすい」は10名(8.8%)、「家事の動作が難しくなった」は41名(36.0%)、「その他」は23名(20.2%)であった。

また表22から家庭内役割が変化した者(複数回答を除く)の数をみると、要支援では431名中99名(23.0%)、要介護1では806名中214名(26.6%)、要介護2では404名中114名(28.2%)であり、要介護度が進むほど役割の変化したものがわずかながら多くなる傾向があった。

また役割変化の理由としては「家事の動作

が難しくなった」が多く、ついで「他の家族がしてくれる」であった。

以上から調査対象群においては家庭内役割の変化したものが2~3割おり、変化の理由は「家事の動作が難しくなった」や「疲れやすい」のような「活動」の困難、ついで「他の家族がしてくれる」のような「参加」面の変化であった。

もちろんこれらの原因の間の相互関係も考える必要があると思われる。

2. 家庭内役割(個別)

1) 調理(p630)

調理の状況を表23に示す。

「以前からしていなかった」は要支援431名中93名(21.6%)、「問題なくしている」は97名(22.5%)、「難しいがしている」は150名(34.8%)、「今はしていない」は85名(19.7%)であった。

表22 家庭内の役割が変化した理由—要介護度・男女別—

	要支援			要介護1			要介護2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
他の家族がしてくれる	4名 4.8%	20名 5.8%	24名 5.6%	14名 7.3%	55名 9.0%	69名 8.6%	11名 9.7%	29名 10.0%	40名 9.9%	133名 8.1%
疲れやすい	2 2.4%	16 4.6%	18 4.2%	5 2.6%	14 2.3%	19 2.4%	5 4.4%	5 1.7%	10 2.5%	47 2.9%
家事の動作が難しくなった	2 2.4%	36 10.4%	38 8.8%	15 7.8%	89 14.5%	104 12.9%	7 6.2%	34 11.7%	41 10.2%	183 11.2%
その他	6 7.1%	13 3.7%	19 4.4%	8 4.2%	14 2.3%	22 2.7%	8 7.1%	15 5.2%	23 5.7%	64 3.9%
複数回答	4 4.8%	31 8.9%	35 8.1%	11 5.7%	63 10.3%	74 9.2%	5 4.4%	21 7.2%	26 6.4%	135 8.2%
返答なし	66 78.6%	231 66.6%	297 68.9%	139 72.4%	379 61.7%	518 64.3%	77 68.1%	187 64.3%	264 65.4%	1079 65.8%
計	84 100%	347 100%	431 100%	192 100%	614 100%	806 100%	113 100%	291 100%	404 100%	1641 100%

これに対して要介護 1 の 806 名中「以前からしていなかった」285 名 (35.4%)、「問題なくしている」は 55 名 (6.8%)、「難しいがしている」は 208 名 (25.8%)、「今はしていない」は 246 名 (30.5%) であった。

また、要介護 2 の 404 名中では、「以前からしていなかった」204 名 (50.5%)、「問題なくしている」は 8 名 (2.0%)、「難しいがしている」は 50 名 (12.4%)、「今はしていない」は 134 名 (33.2%) であった。

調理の一応の実行者、すなわち、「問題なくしている」と「難しいがしている」の合計を要介護度別にみると、要支援 247 名 (57.3%)、要介護 1 263 名 (32.6%)、要介護 2 58 名 (14.4%) であった。

歩行の場合と同様に、仮に要支援を 100% として、他の群と比較すると、要支援(100%)、要介護 1 (56.9%)、要介護 2 (25.1%) と要介護度の進行との並行関係が著明である。

また、「問題なくしている」だけについて同様の比較をすると、要支援(100%)、要介護 1 (30.2%)、要介護 2 (8.9%) と、その関係は一層著明となる。

男女差は「調理」という役割の社会文化的背景(社会意識という「環境因子」)から当然予測されるように著しい。一例を要支援にとると、調理の実行者は女性 63.4% に対し、男性 32.1% と約半数であり、逆に「以前からしていなかった」は、男性は 57.1% と、女性 13.0% の約 4.4 倍である。ただ逆にいえば、男性でも 32.1% に調理の自立している者がおり、女性でも 13% には「以前からしていなかった」とする者がいることは注目に値する。すなわち性差による社会的役割は、それほど絶対的なものではないということである。

2) 調理以外の家事・家庭での役割(庭弄り等)

調理以外の家事・家庭の役割(庭弄り等：p 640、p 650)の状況を表 24 に示す。

「以前からしていなかった」は要支援 431 名中 60 名 (13.9%)、「問題なくしている」は 98 名 (22.7%)、「難しいがしている」は 195 名 (45.2%)、「今はしていない」は 66 名 (15.3%) であった。

表 23 調理の状況—要介護度・男女別—

	要支援			要介護 1			要介護 2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
以前からしていなかった	48 名 57.1%	45 名 13.0%	93 名 21.6%	142 名 74.0%	143 名 23.3%	285 名 35.4%	90 名 79.6%	114 名 39.2%	204 名 50.5%	582 名 35.5%
問題なくしている	9 10.7%	88 25.4%	97 22.5%	5 2.6%	50 8.1%	55 6.8%	3 2.7%	5 1.7%	8 2.0%	160 9.8%
難しいがしている	18 21.4%	132 38.0%	150 34.8%	17 8.9%	191 31.1%	208 25.8%	6 5.3%	44 15.1%	50 12.4%	408 24.9%
今はしていない	8 9.5%	77 22.2%	85 19.7%	25 13.0%	221 36.0%	246 30.5%	11 9.7%	123 42.3%	134 33.2%	465 28.3%
返答なし	1 1.2%	5 1.4%	6 1.4%	3 1.6%	9 1.5%	12 1.5%	3 2.7%	5 1.7%	8 2.0%	26 1.6%
計	84 100%	347 100%	431 100%	192 100%	614 100%	806 100%	113 100%	291 100%	404 100%	1641 100%

これに対して要介護1の806名中「以前からしていなかった」202名(25.1%)、「問題なくしている」は62名(7.7%)、「難しいがしている」は259名(32.1%)、「今はしていない」は261名(32.4%)であった。

また、要介護2の404名中では、「以前からしていなかった」160名(39.6%)、「問題なくしている」は12名(3.0%)、「難しいがしている」は74名(18.3%)、「今はしていない」は142名(35.1%)であった。

調理以外の家事・家庭での役割(庭弄り等)の実行者、すなわち、「問題なくしている」と「難しいがしている」の合計を要介護度別にみると、要支援293名(68.0%)、要介護1 321名(39.8%)、要介護2 86名(21.3%)と要介護度との並行関係が著明であった。

「問題なくしている」だけについてみるとこの率は22.7%、7.7%、3.0%と一層著明な関連性を示した。

男女差については前項の調理と比べればやや少なくなる(男性で行なうものが増える)が、傾向は同様であった。

3. 人との交流 (p730-p770)

家族や親戚・友達など、人との交流についての要介護度別・男女別内訳を表25に示す。

統計でみると、「多い」は1641名中462名(28.2%)、「時々交流している」は846名(51.6%)、「ほとんどない」は316名(19.3%)であった。

要介護度別には「多い」は要支援では33.4%、要介護1では26.7%、要介護2では25.5%と要支援と要介護1との間で要介護度が進むとともに人の交流がやや少なくなる傾向が認められた。

4. 仕事 (p840-p855)

1) 仕事の状況

仕事の状況を表26に示す。

「一般の仕事(自営業含む)」は要支援431名中26名(6.0%)、「授産所・作業所など」は1名(0.2%)、「ボランティア」は2名(0.5%)、「したいがしていない」は110名(25.5%)、「したいと思わない」は245名(56.8%)であった。

表24 調理以外の家事・家庭での役割(庭弄り等)の状況-要介護度・男女別-

	要支援			要介護1			要介護2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
以前からしていなかった	33名 39.3%	27名 7.8%	60名 13.9%	103名 53.6%	99名 16.1%	202名 25.1%	74名 65.5%	86名 29.6%	160名 39.6%	422名 25.7%
問題なくしている	13 15.5%	85 24.5%	98 22.7%	11 5.7%	51 8.3%	62 7.7%	2 1.8%	10 3.4%	12 3.0%	172 10.5%
難しいがしている	24 28.6%	171 49.3%	195 45.2%	33 17.2%	226 36.8%	259 32.1%	10 8.8%	64 22.0%	74 18.3%	528 32.2%
今はしていない	10 11.9%	56 16.1%	66 15.3%	39 20.3%	222 36.2%	261 32.4%	23 20.4%	119 40.9%	142 35.1%	469 28.6%
返答なし	4 4.8%	8 2.3%	12 2.8%	6 3.1%	16 2.6%	22 2.7%	4 3.5%	12 4.1%	16 4.0%	50 3.0%
計	84 100%	347 100%	431 100%	192 100%	614 100%	806 100%	113 100%	291 100%	404 100%	1641 100%

これに対して要介護1の806名中「一般の仕事(自営業含む)」18名(2.2%)、「授産所・作業所など」は1名(0.1%)、「ボランティア」は1名(0.1%)、「したいがしていない」は161名(20.0%)、「したいと思わない」は532名(66.0%)であった。

また、要介護2の404名中では、「一般の仕事(自営業含む)」4名(1.0%)、「授産所・作業所など」は0名(0.0%)、「ボランティア」は2名(0.5%)、「したいがしていない」は

79名(19.6%)、「したいと思わない」は273名(67.6%)であった。

仕事の実行者、すなわち、「一般の仕事(自営業含む)」と「授産所・作業所など」と「ボランティア」の合計を要介護度別にみると、要支援29名(6.7%)、要介護1 20名(2.5%)、要介護2 6名(1.5%)であった。仕事の実行者は各群で1割以下と少ないが、その中でも要介護の進行により更に少なくなる傾向が認められる。男女差は著明ではなかった。

表 25 家族や親戚・友達など、人との交流

	要支援			要介護1			要介護2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
多い	17名 20.2%	127名 36.6%	144名 33.4%	49名 25.5%	166名 27.0%	215名 26.7%	22名 19.5%	81名 27.8%	103名 25.5%	462名 28.2%
時々交流している	44 52.4%	175 50.4%	219 50.8%	96 50.0%	338 55.0%	434 53.8%	57 50.4%	136 46.7%	193 47.8%	846 51.6%
ほとんどない	23 27.4%	41 11.8%	64 14.8%	47 24.5%	103 16.8%	150 18.6%	34 30.1%	68 23.4%	102 25.2%	316 19.3%
返答なし	0 0.0%	4 1.2%	4 0.9%	0 0.0%	7 1.1%	7 0.9%	0 0.0%	6 2.1%	6 1.5%	17 1.0%
計	84 100%	347 100%	431 100%	192 100%	614 100%	806 100%	113 100%	291 100%	404 100%	1641 100%

表 26 仕事—要介護度・男女別—

	要支援			要介護1			要介護2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
一般の仕事(自営業含む)	6名 7.1%	20名 5.8%	26名 6.0%	4名 2.1%	14名 2.3%	18名 2.2%	1名 0.9%	3名 1.0%	4名 1.0%	48名 2.9%
授産所・作業所など	0 0.0%	1 0.3%	1 0.2%	1 0.5%	0 0.0%	1 0.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.1%
ボランティア	2 2.4%	0 0.0%	2 0.5%	0 0.0%	1 0.2%	1 0.1%	0 0.0%	2 0.7%	2 0.5%	5 0.3%
したいがしていない	24 28.6%	86 24.8%	110 25.5%	35 18.2%	126 20.5%	161 20.0%	22 19.5%	57 19.6%	79 19.6%	350 21.3%
したいと思わない	41 48.8%	204 58.8%	245 56.8%	137 71.4%	395 64.3%	532 66.0%	76 67.3%	197 67.7%	273 67.6%	1050 64.0%
複数回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
返答なし	11 13.1%	36 10.4%	47 10.9%	15 7.8%	78 12.7%	93 11.5%	14 12.4%	32 11.0%	46 11.4%	186 11.3%
計	84 100%	347 100%	431 100%	192 100%	614 100%	806 100%	113 100%	291 100%	404 100%	1641 100%

2) 仕事をしなくなった理由

仕事をしなくなった理由を表 27 に示す。

「返答なし」が約半数前後にみられるが、この中には現在まだ仕事をしている人（但しそれは前記のように 1 割以下）、もともと仕事をしていない人（主婦を仕事として考えていない等）、あるいは仕事を辞めてからの期間が長いので「しなくなった」と感じていない、等の様々なものが含まれると考えられる。

残りの半数前後の回答者について検討すると、「定年退職」は要支援 431 名中 62 名（14.4%）、「通うのが難しくなった」は 6 名（1.4%）、「自営業を人に譲る」は 17 名（4.0%）、「職場の都合」は 8 名（1.9%）、「仕事の動作が難しい」は 54 名（12.5%）、「その他」は 47 名（10.9%）であった。

これに対して要介護 1 の 806 名中「定年退職」115 名（14.3%）、「通うのが難しくなった」は 14 名（1.7%）、「自営業を人に譲る」は 22 名（2.7%）、「職場の都合」は 10 名（1.2%）、「仕事の動作が難しい」は 95 名（11.8%）、「その他」は 120 名（14.9%）であった。

また、要介護 2 の 404 名中では、「定年退職」59 名（14.6%）、「通うのが難しくなった」は 8 名（2.0%）、「自営業を人に譲る」は 10 名（2.5%）、「職場の都合」は 6 名（1.5%）、「仕事の動作が難しい」は 51 名（12.6%）、「その他」は 58 名（14.3%）であった。

全体として「定年退職」が 14.0%代と最も多く、「仕事の動作が難しくなった」が 11～13%とそれに次いでいる。

表 27 仕事をしなくなった理由－要介護度・男女別－

	要支援			要介護 1			要介護 2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
定年退職	29 名 34.5%	33 名 9.5%	62 名 14.4%	57 名 29.7%	58 名 9.4%	115 名 14.3%	35 名 31.0%	24 名 8.2%	59 名 14.6%	236 名 14.4%
通うのが難しくなった	2 2.4%	4 1.2%	6 1.4%	2 1.0%	12 2.0%	14 1.7%	3 2.7%	5 1.7%	8 2.0%	28 1.7%
自営業を人に譲る	4 4.8%	13 3.7%	17 4.0%	6 3.1%	16 2.6%	22 2.7%	5 4.4%	5 1.7%	10 2.5%	49 3.0%
その他	7 8.3%	40 11.5%	47 10.9%	31 16.1%	89 14.5%	120 14.9%	22 19.5%	36 12.4%	58 14.3%	225 13.7%
職場の都合	0 0.0%	8 2.3%	8 1.9%	1 0.5%	9 1.5%	10 1.2%	3 2.7%	3 1.0%	6 1.5%	24 1.5%
仕事の動作が難しい	7 8.3%	47 13.5%	54 12.5%	22 11.5%	73 11.9%	95 11.8%	11 9.7%	40 13.7%	51 12.6%	200 12.2%
複数回答	5 6.0%	9 2.6%	14 3.3%	6 3.1%	9 1.5%	15 1.9%	7 6.2%	8 2.7%	15 3.7%	44 2.7%
返答なし	30 35.7%	193 55.6%	223 51.7%	67 34.9%	348 56.7%	415 51.5%	27 23.9%	170 58.4%	197 48.8%	835 50.9%
計	84 100%	347 100%	431 100%	192 100%	614 100%	806 100%	113 100%	291 100%	404 100%	1641 100%